

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.3.0)

1. 建物概要					
建物名称	サーパス関新リバープレイス新築工事				
建設地	新潟市中央区関新二丁目2229番7、2380番3、2381番3				
用途地域	第二種住居地域				
建物用途	集合住宅				
竣工年	2019年1月 予定				
敷地面積	2,014.78 m ²				
建築面積	456.44 m ²				
延床面積	4,587.97 m ²				
階数	地上14F 地下1階				
構造	RC造				
評価の段階	実施設計段階評価				
評価の実施日	2017年6月29日				
2. CASBEE新潟の評価結果					
		A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{53.4}{32.8} = 1.6$		
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★					
3. 新潟市の重点項目の評価					
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア 2.8		バリアフリー計画	Q2.1.1.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア 2.9		維持管理	Q2.1.3	2.5
			設備の更新性	Q2.3.3	3.0
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア 3.0		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	2.8
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 4.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 2.3		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	5.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア 2.5		節水	LR2.1.1	1.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	1.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	5.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア 3.0		生物環境の保全と創出	Q3.1	2.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0
			まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項					
1.住宅性能表示制度の劣化等級3を確保し、建物の長寿命化に配慮した。					
4.住宅性能表示制度の省エネ等級4を確保し断熱性能のの向上により建物の熱負荷抑制に配慮した。					
5.内装を乾式工法とし、PS・天井内・床コロガシ配管により設備との錯綜を回避することで、部材の再利用の可能性を高めている					

CASBEE®新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	サーパス関新リバープレイス新築工	階数	地上14F 地下1階
建設地	新潟市中央区関新二丁目2229番7、2380番3、2381番3	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	169 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2017年6月29日
敷地面積	2,015 m ²	作成者	櫻井 祥夫
建築面積	456 m ²	確認日	2017年6月29日
延床面積	4,588 m ²	確認者	菱崎 嘉昭



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184)

②建築物の取組み 56% (92)

③上記+②以外の 56% (92)

④上記+ 56% (92)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	川そして街との調和を追及すると同時に時代の流れに左右されないシンボルとなる様、計画した。	
その他	-	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
複層ガラスの採用や、内装建材にF☆☆☆☆を用いるなど、室内環境に配慮している。	躯体は劣化対策等級3相当とし、耐用年数の長い設備配管材を採用するなど、建物の長寿命化に配慮している。	敷地内の日照・植栽条件に応じた中高木および多くの緑地を設けることにより、良好な緑地環境に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
潜熱回収型給湯器を採用し、省エネルギーに配慮している。	内装を乾式工法とし、PS・天井内・床コログシ配管により設備との錯綜を回避することで、部材の再利用の可能性を高めている。	ライフサイクルCO ₂ 排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される